

“with コロナ”時代の新たな健康サービス

サップス、地域活性化と人々の健康をサポートするサービスを開始

関西を中心にフィットネスクラブを経営する株式会社サップス（以下、サップス）は、新型コロナウイルス禍（以下、コロナ禍）で余儀なくされた休業中に、withコロナ期のフィットネスのあり方を模索し、新たな取り組みをスタートさせた。

オンラインレッスンを開始 医療従事者向けには無料で提供

サップスでは、外出自粛要請の長期化により、運動不足や体重の増加、免疫力低下、ストレスや不安感の増加といった健康へのリスクを解消するため、既存会員を対象に「Vivo オンライン LIVE レッスン」を開始した。すると、予想を上回る参加があったため、定員を大幅に広げ、5月18日からは一般向けに申し込みを拡大している。ヨガ、ピラティス、美尻トレーニング、ダイエットエクササイズまで多彩なラインナップをそろえるほか、LIVE 配信のため、リアルなレッスンの感覚を味わうことができるようにならした。さらに、より深いコミュニケーションがとれる「パーソナルオンライン」や「少人数制オンライン」も開講し、身体的な健康の向上はもちろん、人との接点を増やすことでメンタル面における健康維持にも貢献できるようにした。この

ほかにも、インストラクター養成コース「Colours アカデミー」や、インストラクターが厳選した健康グッズを紹介する同社運営の通販サイト「楽トレFit」から購入すると、グッズを使ったレッスンを受講できる「Vivo オンラインLIVE体験」も開始し、自宅でのエクササイズをサポートすることにした。

レッスンは無料と有料の2種類に分かれ、有料レッスンは1～100回のチケットを選択でき、購入回数にもよるが、1回あたり50～300円と気軽に利用することができる。また、Vivo 店舗の特定の会員には月2～4回を、休会者には月10回の有料レッスンのチケットをプレゼントしている。

さらに7月からは、医療従事者向けに無償で「Vivo オンライン LIVE レッスン」の提供を開始した。ヨガやストレッチなどのリラックスできるものや、ボクササイズなど汗をかくことでリフレッシュできるプログラムを勧めているが、今後は、心身への負担がより深刻な医療従事者に向け、新たなプログラムを考案予定だという。

コロナ禍に自宅でヨガをする人が増え「ヨガを自分でできるようになりたい」「もっとキレイにポーズを見せたい」「内面から美しくなりたい」貴方のためのスクールです。身体の使い方を知り、ポーズをさらに深められる内容となっており、都合に合わせてオンラインとリアルなスタジオでの受講を選ぶことができる。

農家をサポートすることで 地域活性化と人々の健康を実現

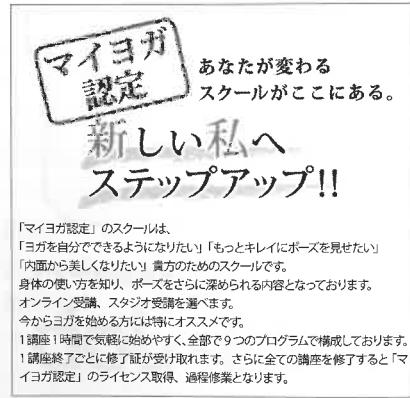
サップスはウェルネス企業としての原点に立ち返り、CSA (Community Supported Agriculture) に協力して「食」にフォーカスした「アグリ+（プラス）メンバー」も新設している。こ



好評のオンラインレッスンの模様

れは、健康と地域活性化に寄与するものとして欧米を中心に展開されているもので、有機農家グループ「ビオクリエイターズ」が育てる野菜を、Vivo の店舗（現在は2店舗）で定期的に受け取ることができる。CSAは、「地域が支える農業」という意味で、野菜の作付け費用を農家に先払いし、育った野菜を受け取る仕組みだ。フィットネスクラブとの連携は関西初であり、食とフィットネスの相乗効果で、健康維持や免疫力アップをサポートしていく。9月20日には、Vivo神戸西神南店カフェエリアで、生産者も参加する料理教室と野菜販売会を開催するなど、今後も定期的に生産者が参加するイベントを開催し、地域の活性化にも寄与していきたい考えだ。

サップスのマーケティング部ディレクター山下和美氏は「私たちには夢があります。『スポーツ・健康・美容・食』をテーマにした、人がふれあい笑顔があふれるウェルネスコミュニティ拠点をつくり出すことです。この理念のもと、withコロナ時代の新しい生活様式として、社員全員の英知を結集して新企画を考え出しました。まだ、コロナ禍の収束は見えませんが、楽しみと心地よさ、そして生きる喜びを与える社会の実現を目指し、少しでも前進できるサービスの提供に貢献したいと考えています」と語り、新たな取り組みで地域、そして1人でも多くの人々を健康にしていきたいと決意を語っていた。



「マイヨガ認定」ポスター（一部抜粋）